



平成27年8月11日

伊賀市長 岡本 栄 様

図書館の在り方についての提言書

(高校生とともに)

(一社) 伊賀法人会

会 長 堀川 一成

青年部会長 山本 大介

25周年事業実行委員長 伊藤 英次



一般社団法人 伊賀法人会 青年部会は今年度、創立25周年を迎えるにあたり、その記念事業として、税金により運営・維持管理されている公共の施設の中で「図書館」にテーマを絞り、その在り方と未来像を議論し検討することにしました。

「図書館」をテーマにするについて、その施設を頻繁に利活用しているであろう地域の高校生に議論・検討を重ねてもらうことで、次代を担う若者にも公共施設と税金の有意義な活用への認識を高めてもらうとともに、社会における高校生の位置づけにも気づいてもらえるきっかけとなることを主たる目的として企画しました。

企画は大きく、一部「議論編」二部「講義編」三部「まとめ編」の三部構成としました。初めに一部「議論編」を平成27年6月10日に伊賀市・名張市在住の県内6校に通学する高校生24名に参集いただき、国内外の「図書館」の紹介から先進的な取組をしている「図書館」の現状などを学んだうえで準備されたテーマに基づき理想の「図書館」について自由に議論し意見を出していただきました。(資料1参照)

注目すべきは先進的な「図書館」にみられるような複合的なサービス(飲食や販売併設など)について、冷静な判断でその有無を述べているところだと思います。高校生にとっての「図書館」は主に自習する場所であり書籍を借りる施設として捉えており、その目的以外については多くを望んでいないとも採れる意見が印象的でした。現在置かれている立場での意見としては高校生らしいといえるのかもしれませんが。

二部は「講義編」として同6月26日に先進的図書館の実現で話題となった前武雄市長の樋渡啓祐氏による「地方創生と図書館の未来」をテーマにした講演会を開催し200名以上の一般の方に聴講いただきました。一部に参加した高校生は、そのアクセスや日程の都合により4名の聴講にとどまりましたが、公共施設である「図書館」の改革と行政の関わりなど普段は触れることのない社会の仕組みが理解できる良い機会になったと思います。

三部は「まとめ編」として同 7 月 9 日に、一部に参加いただいた高校生のうち 13 名に再度参集いただき、一部での結果をわかりやすく整理したもの（資料 2 参照）や二部の講演内容の概要と講演聴講者を対象に行ったアンケート結果をまとめた資料（資料 3 参照）をもとに、高校生の視点だけでなく一般の方の視点による「図書館」に期待するものを包含して判断し、現実的な施設やサービスの拡充には税金である「お金」が投入されることも踏まえたうえで、将来に向けて高校生が求める「図書館」の未来像について議論していただきました。

議論に際しては自由な意見のやりとりの後に、A：かならず必要とする、B：予算があれば必要としたい、C：どちらでもよい、D：必要ない、という 4 項目で挙手により希望度を諮る手法を採りましたが、税金の使途に対する意識がさほど高くない高校生には若干消極的な判断を招く結果となってしまったことは否めません。このことは下記の【予算があれば実現したいこと】の項目が多くなる結果につながったのではないかと考察されます。「予算をつけてでも実現してほしい」と読み替える方が真意に近いかもしれません。

そこから抽出された意見が（資料 4）にまとめたものとなります。

ここで注視すべきは、高校生の判断は非常に冷静かつ客観的であり、税金の使途が有意義であるべきとの認識を踏まえることで、現実的な結論を導かねばならないという責任感のもとに発展的に変化したことが表れていると思います。

以上の三部からなる企画を終えて、高校生が有効な税金の使途としての現実的な判断のうえで地域の「図書館」に求めるものは以下の項目であり、今回の事業の成果として伊賀市長に提言することといたします。

【ぜひとも実現したいこと】

- ・ 自習室の充実（多人数が座れるスペースと個々に間仕切られたスペースが併設）
- ・ 駅やバス停などからのアクセスのよさ
- ・ 駐車場・駐輪場の収容台数確保

【予算があれば実現したいこと】

- ・ カフェなどの軽い飲食施設（休憩や気分転換に利用、読書や自習スペースとは離れて）
- ・ 幼児や児童の遊び場（静かであるべきスペースとは隔離）
- ・ 託児所（図書館を利用したい保護者への配慮）
- ・ 開館時間と開館日の拡充（9 時から 21 時、できれば閉館日も少なくしてほしい）
- ・ お洒落な外観・存在感のあるデザイン（シンボリックな建物）
- ・ 新刊書や専門書の充実
- ・ インターネット通信設備

なお、議論の中で講演会のアンケート結果を踏まえ一般の方が求めるものについて、明確に「必要ない」と判断した項目も資料4で参照していただくと、高校生がいかに関理想論のみにとらわれることなく確固たる判断を下したかが分かると思われます。

これら提言を、次代を担う若者の貴重な意見として斟酌いただき、将来「図書館」をハード面ソフト面に関わらず見直す機会があれば大いに参考にして活用いただくことを切に願いながら提言させていただきます。

また、ミーティングの最後に法人会青年部会の総括として、今回の企画に参加いただいた高校生に対して、感謝するとともに、我々が住まう地方都市は少子高齢化による人口減少は避けがたい現実として迫ってきております。

それに伴う自治体の税収減も明らかな事実として認識しなければならない中で、税金を投入する公共の施設が住民のニーズを反映し充実し魅力的であることで、人が集まり、人口の減少を食い止めるだけでなく増加を促し、税収も安定し、さらなる公共の施設の充実・住民サービスの拡大という好循環を創出していくという社会の仕組みを理解していただきたいと考えています。

これから地域を支えていく若いみなさんに、この企画をきっかけとして住民サービスと住みやすい地域、それらと税金の有意義な使途との関連を考えながら過ごしていただきたいと願望も述べさせていただきました。

追記、今回の企画において高校生が多くの方の事業者からなる法人会スタッフと触れ合い、ともに事業を完遂したことは、当会が次世代育成支援として社会的責任の一助に寄与できたものと自負いたしております。

以上

資料①

図書館の未来を考えよう！！

この事業は、提言書を出すことが目的ではなく、その過程で皆さんが税金の有意義な使い道について自ら考えてもらうきっかけとなることを主目的と位置付けています。



他の図書館の情報や
税金の使われ方

INPUT

①議論編

■日付:6月10日(水)19:30~21:00 ■場所:ハイトピア4F

■内容:高校生のみなさんに、他の自治体の図書館の情報や、図書館に掛ける予算などを資料としてお渡しするので参考にしながら、市民として、自由闊達に自分達の求める図書館像を描いてください！！

OUTPUT

高校生のみなさんが
考えた図書館像

INPUT

②講義編

■日付:6月26日(金)19:00~20:45 ■場所:名張産業振興センター

■内容:当時、市長として佐賀県武雄市に TSUTAYA 運営の図書館を実現した樋渡啓祐氏に、みなさんの考えた図書館像をみて頂いた上で、地域に住まう市民にとって魅力ある図書館、その未来像についてご講演頂きます！！

OUTPUT

聴講者の皆さんの
アンケート結果まとめ

INPUT

③まとめ編

■日付:7月9日(木)19:30~21:00 ■場所:ハイトピア4F

■内容:高校生のみなさんに、再度集まって頂き、樋渡氏の講演を聞いたうえで、聴講者アンケート結果も踏まえて、どのような図書館にすべきか、次世代のために建設的な提言としてまとめていきます！！実際に皆さんの意見をそれぞれの自治体に提言書として提出します。

OUTPUT

提言書



資料②-1

①空間・環境

・スタバがあったら行く	01.カフェ(スタバ)
・暑いときにドリンクを提供してくれるようなサービス	01.カフェ
・静かじゃなければ行く。話せるところ、静かにするところを分ける	02.ゾーニング
・雰囲気が堅いと気まずい	02.ゾーニング
・きれいな建物が良い。オシャレだと行きたくなる、外観も内装も	03.外観・内装
・場所が分かりにくい、図書館が目につきにくい	03.外観・内装
・コンクリート造りではなく明るい環境	03.外観・内装
・外観は求めない	03.外観・内装(ー)
・BGMは無い方が良い	04.ゾーニング
・静かな場所が良い	04.ゾーニング
・勉強スペースを広くしてほしい	04.ゾーニング
・子どもコーナーにBGMがあれば、泣き声や音が軽減される	04.ゾーニング
・集中力が途切れた時に音楽を聴くスペースが欲しい	04.ゾーニング
・静かなところと音楽を聴くところの場所を分けて	04.ゾーニング
・静かな方が良い。	04.ゾーニング
・勉強する場所は静かなところが良い	04.ゾーニング
・BGMのようなクラシックなどの音のみなら良い。	04.ゾーニング
・明暗、静音、スペースを分けてほしい	04.ゾーニング
・一人の空間があればよい、壁で区切られている	04.ゾーニング(個室)
・狭くて薄暗いスペースがあればよい(個室)	04.ゾーニング(個室)
・交通の便が悪いし、道が狭く行きづらい	05.利便性
・名張みたいに駅から近いと良い	05.利便性
・立地場所がわかりにくいので、駅前などわかりやすいところ	05.利便性
・日光が入ってくる明るい環境、中庭があればよい	06.開放感
・開放的な環境が良い	06.開放感
・開放感が欲しい、ショッピングモールのような	06.開放感
・席数が多い方がよい	07.キャパ
・和室が欲しい	08.和室・畳部屋
・本を読みながら何かできるスペース	09.飲食店及び飲食スペース
・飲食のできるスペース	09.飲食店及び飲食スペース
・楽な姿勢で読めるスペース	10.リラックス
・靴を脱いだりリラックスできる環境	10.リラックス

資料②-3

③蔵書

・どんな種類か（対象年齢や対象カテゴリー別）に分かりやすい方が良い	01. 年齢・カテゴリー分け
・利用者年齢層に合わせて求めるジャンルを充実させる	01. 年齢・カテゴリー分け
・蔵書数より多様性を求める	01. 年齢・カテゴリー分け
・借りるなら文庫本の方が良い	02. 文庫本増書
・人気本を揃える	03. 人気本増書
・哲学書が好きなのもっと置いてほしい	04. 哲学書増書
・エッセーの数を増やす	05. エッセー本増書
・小説、恋愛小説	06. 小説増書
・漫画などあれば利用や読書のきっかけになる	07. 漫画本増書
・漫画など楽しめる本もほしい	07. 漫画本増書
・参考書、楽譜、図鑑、画集、中国語の本	08. 参考書・趣味本増書
・ファンタジー本（ハリーポッターやスターウォーズなど）	08. 参考書・趣味本増書
・本は読まない。勉強だけしに行っているので必要と思わない	09. 自習室
・海外の学生や同年代が読んでいる本を集めたコーナー	10. 海外

資料②-5

⑤雑誌

・買うくらいなら読んで帰る	01.試読不要・販売不要
・図書館へ行く目的は借りること、買うことではない	01.試読不要・販売不要
・本を借りる場所なのに、販売に繋げる必要はないのではないか	01.試読不要・販売不要
・欲しい本は図書館に取寄せてもらうので、十分ではないか	01.試読不要・販売不要
・読む場所、借りる場所としておくべきでは	01.試読不要・販売不要
・あくまで貸し出しの方が利用が増えて良い。販売はいかがなものかと思う	01.試読不要・販売不要
・図書カードを使えれば買いたい	02.試読要・販売要
・漫画とか気に入れば買いたい	02.試読要・販売要
・あった方が良い	02.試読要・販売要
・買った方が良い物もある	02.試読要・販売要
・読んでみて購入できるのは良いと思う	02.試読要・販売要
・買えば便利だが変えなくても問題はない、不自由ない（最多意見）	02.試読要・販売要
・本屋よりも立地が良ければ良いと思う	02.試読要・販売要
・試し読みしてから帰るのは有難い。販売があれば便利	02.試読要・販売要
・自分のモノにしたいので買いたい	02.試読要・販売要
・販売も行くと図書館の負担がおおきくなるのでは	04.心配
・あまり借りられていない書籍を安く販売するのはどうか	05.その他意見

資料②-7

⑦世代別【幼児】

・ ちょっとしたおもちゃがあっても良い	0.1遊べるスペース
・ 託児スペースがあれば良い	0.1遊べるスペース(託児所)
・ 騒いでいい場所があってもいい	01.遊べるスペース
・ 走り回ってもケガをしないスペース	01.遊べるスペース
・ いろいろなことに興味のある時期なので想像力を豊かにする環境	01.遊べるスペース
・ チャイルドルーム、ベビーベッド、スペースを分けるべき	01.遊べるスペース
・ 小さい頃に読んだ本は後々影響があるので児童書コーナーは必要	02.児童専用スペース
・ 騒がしいのは困る	02.児童専用スペース
・ 気が付いたら本を読んでいるという流れを作れば	02.児童専用スペース
・ 寝転んだりして読める場づくり	02.児童専用スペース
・ 時間帯や日によって幼児メインのときがあっても良い	03.幼児専用日時設定
・ 自分で読めないので、読み聞かせを（紙芝居など）	04.読み聞かせの充実
・ 読み聞かせをしてくれると良い	04.読み聞かせの充実
・ 絵本に親しむ必要がある	04.読み聞かせの充実

資料②-9

⑨世代別【社会人】

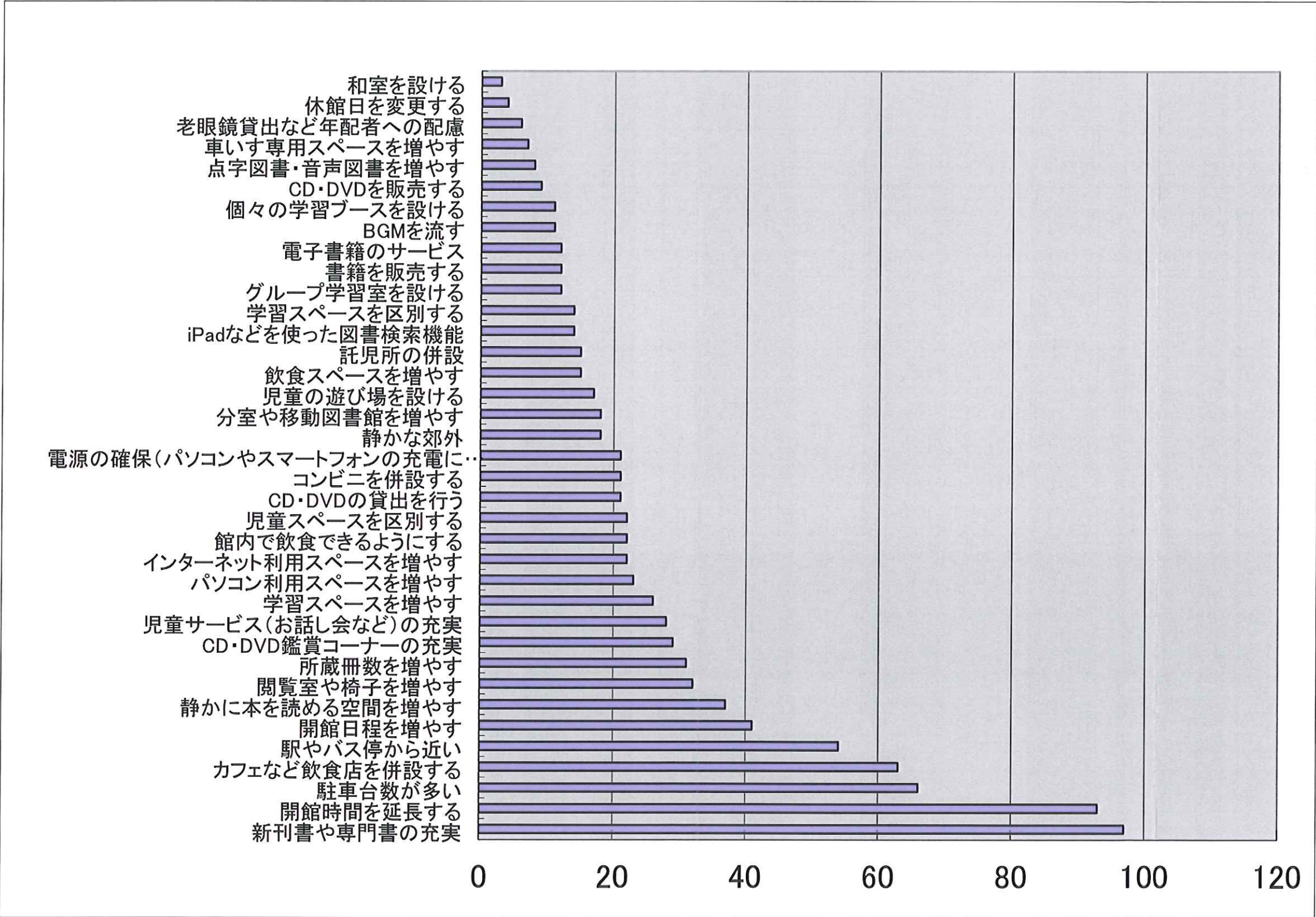
・学生も社会人もなかなか利用できない	01.閉館時間
・勤務時間後に開いていないと困る。午後8時頃までは。	01.閉館時間
・社会人専用の読書席がある（テスト期間に学生でいっぱいになるから）	02.ゾーニング
・自習スペースと分ける。個室充実。	02.ゾーニング
・もっと席数を増やした方が良いのでは	03.増席
・パソコンがあればよい。	04.IT
・今のままで良い（職業もバラバラだし見当つかないから）	05.わからない
・資格の参考書を多くする	06.増書（資格書）
・興味のある分野（専門書や専門雑誌）を増やす。物理や車なども	06.増書（専門書）
・仕事に役立つ専門書があれば利用する。	06.増書（専門書）
・図書館のレイアウト自体を、専門分野から関連付けて探せるようにしたら良い	07.年齢・カテゴリー分け

資料②-11

⑪アイデア

・スタバで買って、本も友達と読む	01.カフェ(スタバ)
・午後5時に閉館は早すぎる	02.閉館時間
・夜間遅くまで開いていれば	02.閉館時間
・どんな世代の人も本を楽しめるような図書館	03.ゾーニング
・まじめに本を読むところと騒いで良いところ、子どもが過ごせるところなどの	03.ゾーニング
・世代別のコーナーをつくる	03.ゾーニング
・和室(のような落ち着くスペース)	03.ゾーニング
・読み聞かせスペースを1階に創る(2階は高齢者等に大変だから)	03.ゾーニング
・自習スペースは机が大きくないとダメ	03.ゾーニング
・ディスカッションできる部屋がほしい	03.ゾーニング(ミーティング室)
・広げるテーブルが欲しい	03.ゾーニング(ミーティング室)
・趣味や製作の発表スペース	03.ゾーニング(ミーティング室)
・DVDの貸出	04.CD, DVDレンタル
・テスト時期に席がいっぱいにならないように増席	05.増席
・優先席制度	05.増席(優先座席)
・完全な個室(1人部屋)	06.個室
・開放的な空間、採光などの工夫	07.開放感
・今日の話を聞いて、一度行ってみようかと思った。	08.その他
・点字の図書館も合同で使えるようにする	09.ユニバーサル
・健常者、障害者の差別なく使える	09.ユニバーサル
・冷房、暖房の空調は必須	10.読書環境
・専門書を増やす。	11.増書(専門書)
・洋書を増やしてほしい、語学への興味も出るため	11.増書(洋書、語学)
・地域にこだわった特集は不要だと思う	12.地域特集不要
・軽く読める本を増やす	13.増書(読みやすいもの)
・駐車場の確保	14.駐車場の確保
・サービスの充実	15.サービス

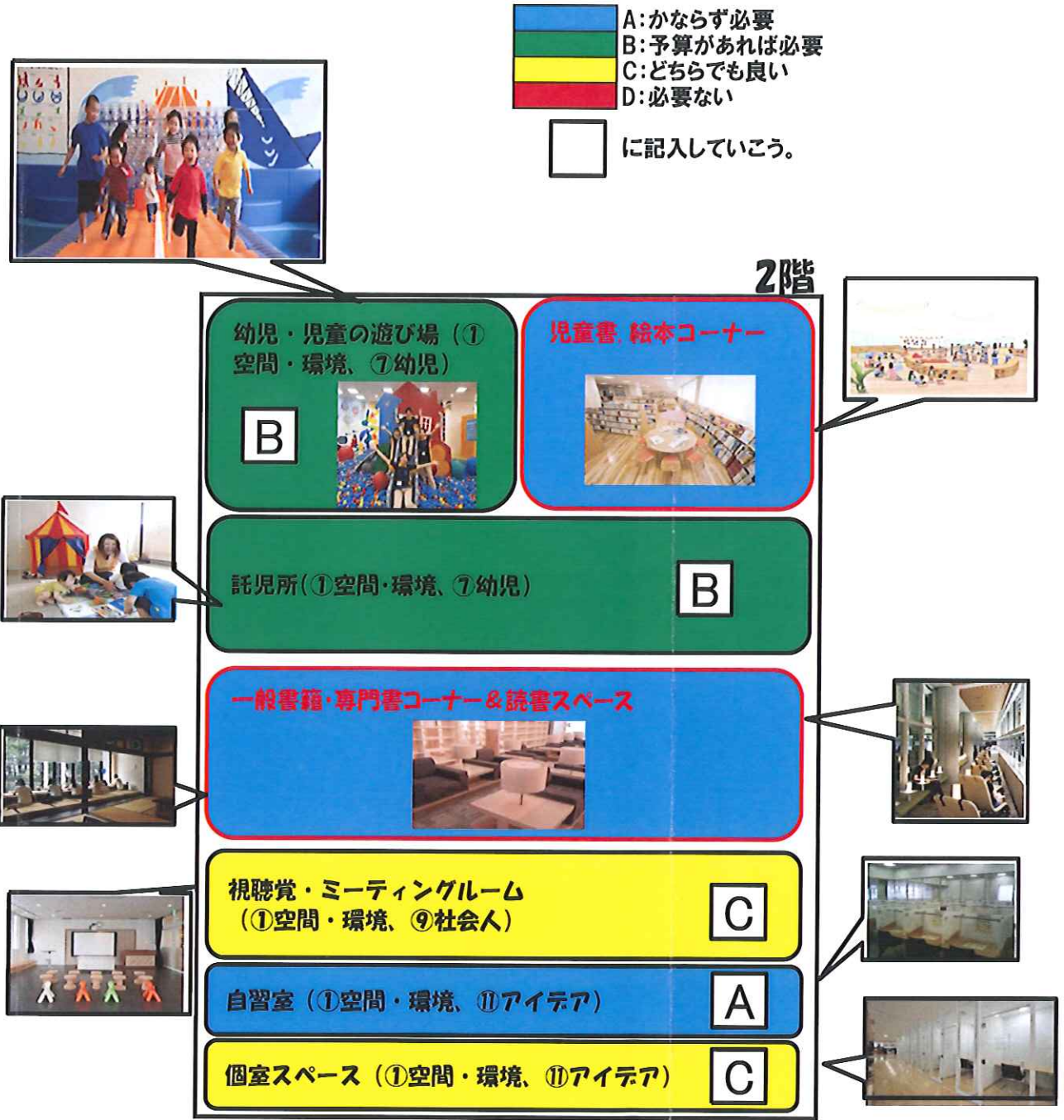
樋渡啓祐さん講演会アンケート結果



資料③-2

- ・ 閉館日に貸出できる仕組みがあればいい
- ・ 洋書を増やす
- ・ 子どもは飽きると身体を動かしたくなる
- ・ 蔵書の種類を増やす
- ・ 一私企業に個人の閲覧履歴を提供するのはおかしい
- ・ 時間が合わないので利用できない
- ・ 今のままでも十分だが、スペースが広く蔵書が増えれば尚良い
- ・ 閲覧用ソファで寝て、スペースを占領している人がいる
- ・ 児童書が少ない
- ・ ゆっくり本を読めるスペースがない
- ・ 学生時代は時間があつたのでよく利用した
- ・ 本を図書館で調査して何度も読みたい本は購入している
- ・ 知識の象徴である図書館に人が集まる街は知識が溢れ、そこで育った子どもは幸せだ
- ・ 本を貸すという役割をこれからの図書館が果たす必要があるのか。
- ・ 今の時代、インターネットでいくらでも探せる。本を貸す借りるというより、本を読むスペースを提供してほしい
- ・ 自習室がほしい

理想の図書館イメージ図(挿絵等はインターネット引用)



A: かならず必要
B: 予算があれば必要
C: どちらでも良い
D: 必要ない

□ に記入していこう。

その他サービス、立地などは？

駅・バス停などからの利用しやすさ	A	お洒落な外観・存在感あるデザイン	B	新刊書や専門書の充実	B	iPadの無料貸出、iPadによる書籍検索	D
駐車場・駐輪場の収容台数の多さ	A	開館時間は 365日 9時～21時まで	B	Wi-Fiスポットなどのインターネット通信設備	B	館内どこでも飲食しながらの読書	D

テーマ	意見	優先度判定 (ABCD)
カフェ	○ (私は)本を読まないで、カフェがあたら待ってられる。 ○ (図書館に)行くきっかけとなる。 ○ 本を読んで疲れた時に、一息いれるところとして欲しい。 × 本を汚してしまいそう。 × (本来の)図書館としてはどうか。	A:2 B:8 C:2 D:0 B
DVD・CDレンタル	○ 名張はTSUTAYAが無いので、あたらうれしい。 ○ 映画化された本を読みなくなった時、よい。 × (図書館としては)本が有れば良い。(DVD・CDレンタルは)必要無い。 × (近くに)レンタルショップがあるのでわざわざ図書館で借りない。	A:0 B:1 C:5 D:6 cD
書籍販売	○ 予算があればあってもよい。 ○ 貸し出しをしなくなった本を売ってもよいのでは。 × (図書館は)本を販売するところではない。 × 買うならわざわざ図書館にはいかない。	A:0 B:1 C:7 D:4 C
BGMの流れる読書スペース	肯定意見は特に無し × 携帯音楽プレーヤーがあるので必要ない。	A:0 B:1 C:8 D:3 C
コンビニ	○ テスト前に一日中図書館にこもる時はあたら便利。 × (図書館は)静かな方がいいので、(図書館の)中に無くてもよい。 × うるさくなるので困る。要らない。	A:0 B:0 C:6 D:6 CD

テーマ	意見	優先度判定 (ABCD)
児童遊び場	○ 子供は飽きやすいので、あったほうがよい。 ○ 親が(子連れで)行きたい時にあったほうがよい。 × うるさくなるので嫌。スペースを区切る必要がある。 × 図書館の中に(公園のような)遊び場	A:0 B:5 C:4 D:3 B_C
託児所	○ (うるさくなるので)場所を区切ってくれたらよい。 × 特に必要無い。 × 必要性を感じない。イメージできない。 × これにお金を掛けるなら本に掛けて欲しい。	A:0 B:5 C:4 D:3(女性) B_C
視聴覚ミーティングルーム	○ 図書館という枠を越えて考えるなら、あったほうがよい。 ○ 資料を借りて、団体でディベートをしたり、研究発表などをするときはあったら有意義。 ○ 調べ学習等で、(図書館で)資料を借りてそのまま図書館内で作業出来ると便利。 ○ 調べごとをするときにパソコンがあればよい。 × 利用しない立場からすると、不必要。	A:0 B:4 C:7 D:1 C
自習室	○ 自習室なら周りが勉強しているので(勉強する雰囲気として)よい。(家ではなかなかできない) ○ 友達と一緒に教え合いながらの勉強は、うるさくながりがちなので、顔が見えるスペースと個室が併設されるとよい。 ○ 席数が豊富にあったほうがよい。 ○ 自習室に参考書があったらよい。 × 図書館は静かな場所であるべきなので要らない。	A:9 B:2 C:0 D:1 A
個室	○ 人前で読みにくい趣味(やジャンル)の本を読むときにあると便利かもしれない。 × 個室で読みたいなら、家に帰れば良い。 × ここまで贅沢なものはいらない。	A:0 B:1 C:6 D:5 C_D
その他	駅・バス停からの利用のしやすさ 駐車場・駐輪場の十分な収容台数 おしゃれな外観・存在感のあるデザイン 開館時間 9 時～21 時 新刊書や専門書の充実	... B ... D ... D